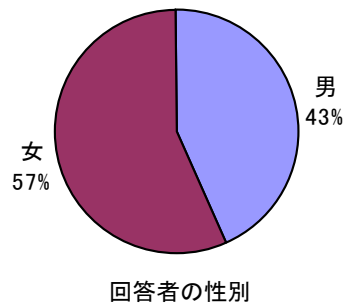
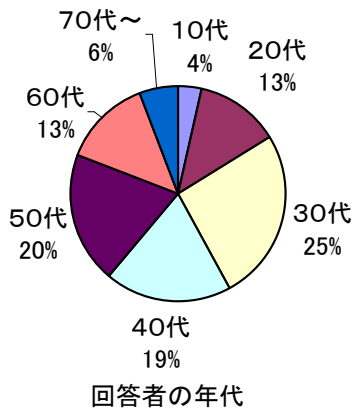


### 京都環境フェスティバル 2005 における木材消費に関する消費者へのアンケート調査結果

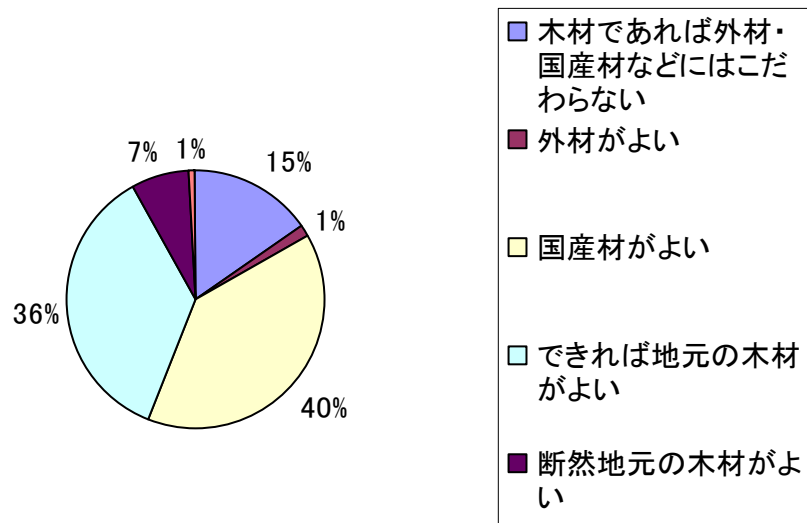
実施主体：京都・森と住まい百年の会  
京都府温暖化防止センター  
京都大学農学部 坂本朋美

有効回答件数：136件

回答者属性

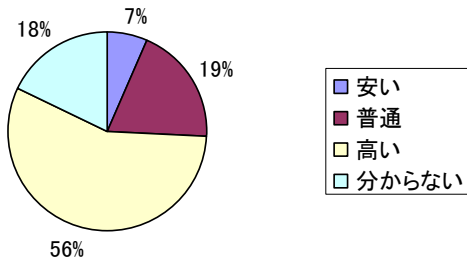


1. あなたが住宅を建てるとした場合、どんな木を使いたいと思いますか？

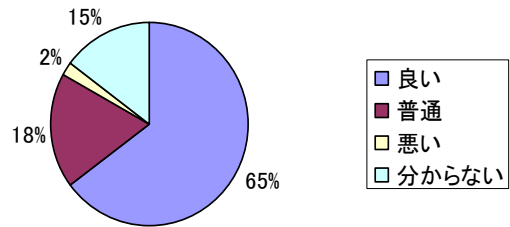


2. あなたの地元の木材に対するイメージで当てはまるものをお答えください

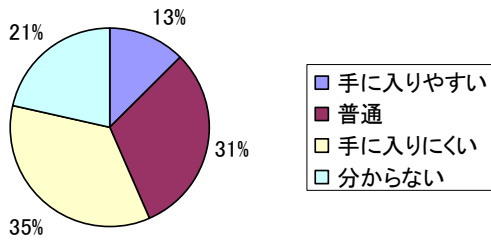
2-1.価格のイメージ



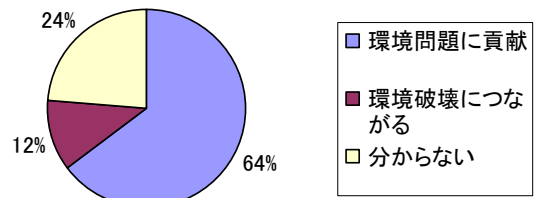
2-2.品質のイメージ



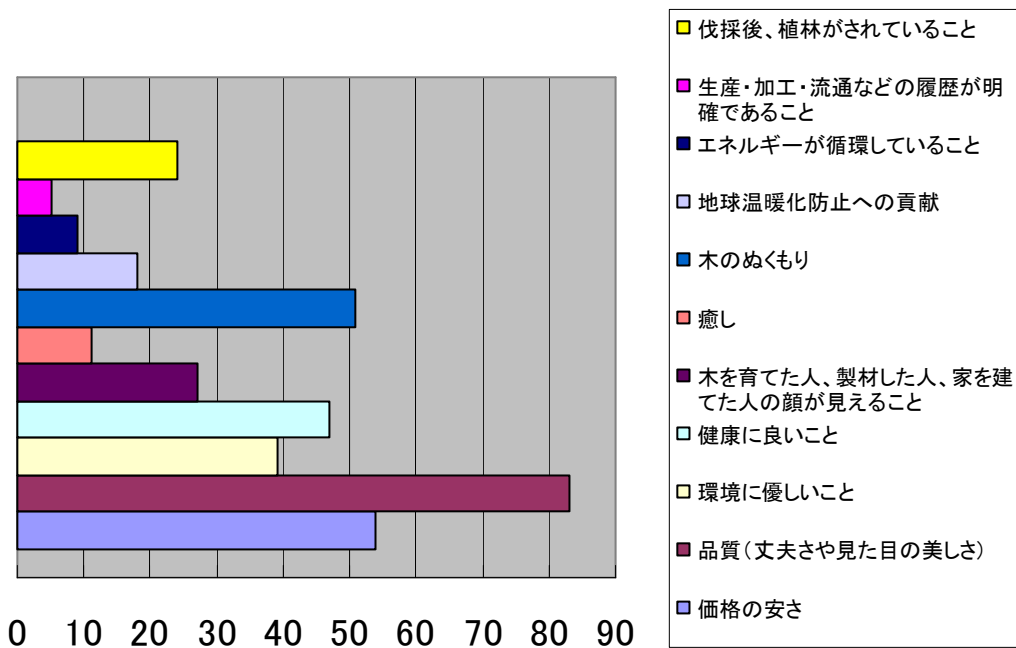
2-3.購入のイメージ



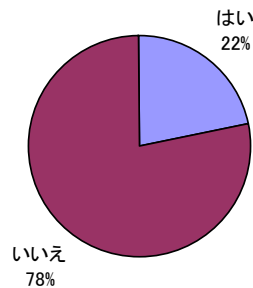
2-4.環境へのイメージ



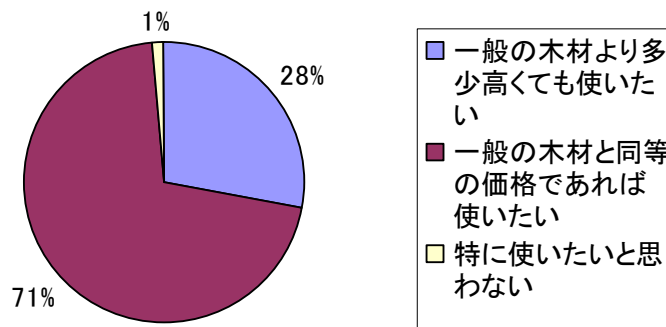
3. あなたが地元の木材に特に求めているものをお答えください（3つまで○）



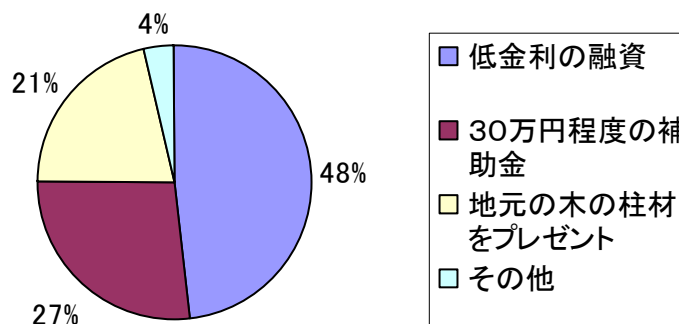
4. 生産・加工・流通などの履歴が明確で、輸送過程での二酸化炭素排出の削減量がわかる「京都府産木材認証制度」を、本日のイベント以前からご存知でしたか？（いずれかに○）



5. 京都府産木材認証制度で認証された木材を使いたいと思いますか？（いずれかに○）



6. どのような特典があれば地元の木で家を建てたいと思いますか？（いずれかに○）



## ●百年の会の活動、京都の木での家作りについてなどの感想

### - 京都の木での家作りについて

- 京都に木で家を建てられたらうれしいが、あまりにも遠い存在
- 環境問題に興味があるので木の家がいい
- 香りもよく、雰囲気や温もりもあり京都にピッタリだと思う。これからも環境と人に優しい家作りが増える事を切に願う
- 木の香りの中でこのアンケートを書けてよかった。小さいときから木の家に住むことが夢だったのでいい機会だった
- 実家が木の家なので大切にしたい
- 外材より国産材がいいというのはよく聞くが、その中でも地元の木を使う方がいいのは知らなかった。これから少し気にしてみようと思う
- 木の家はぬくもりがあって落ち着く
- 木材は暖かさが伝わってくると思う。これからどんどん木の家を増やして行ってほしい
- 地元で育った木で生活するのが人間にとってもよい
- 京都の木を使う機会があればぜひ使いたい
- いい木で家が作れたら理想です。ただ現実には無理かも
- 木の家はあこがれますが現実には高そうで（お金がいっぱいあればぜひ）
- 近々家の購入を考えているので、木の家も勉強したいと思う
- アスベストは嫌だ。木の家がよい
- なるべく木をたくさん使った家がいい。少し高いけれど出来れば利用したいと思う
- ホームページなどを参考に出来ればよいと思うので、その充実を図ってもらえれば
- 北山スギで床柱を作りたい

### - 認証制度について

- 原木→製品→木材商→工務店？どこまで府内産の証明が出来るのか？やはり価格も高くなってしまおうのしょうね
- 今回初めて認証制度を知り、京都の木ってすごいんだと驚きました。家でも木の積み木を使っていますが、子供には安心でよかったと思います

### - 百年の会について

- もっと研究して欲しい
- 地味な活動でしょうが頑張ってください。プラスの協力は出来なくても、マイナスの行為はしないと誓います
- 会の活動を知らなかった、初めて知った（同意見複数あり）
- もっと普及するように頑張ってください

### - その他

- 里山の保全が見直されつつあるのは喜ばしい事。安い外材を輸入している一方で、輸出国で砂漠化などを引き起こしていることを憂えています

(参考1) イベント概要：

1. 名称：京都環境フェスティバル 2005
2. 主旨：複雑・多様化する環境問題を克服し、持続可能な社会を構築していくためには、府民、団体、NGO、企業、行政など、あらゆる主体による取組が重要である。特に、本年2月に「京都議定書」が発効し、脱温暖化社会に向けた実効性のある取組が求められている。参加・体験型イベント「京都環境フェスティバル 2005」を開催し、府民の環境意識の高揚や環境行動の実践につなげる。
3. テーマ：「“もったいない”の心でひらく地球の未来」
4. 主催：京都府、京（きょう）と地球（アース（あす））の共生府民会議、京都府地球温暖化防止活動推進センター、財団法人自治総合センター
5. 会期：平成17年12月10日（土曜日）、11日（日曜日）10時～16時
6. 会場：京都府総合見本市会館（パルスプラザ） 京都市伏見区竹田鳥羽殿町5
7. 主な内容：a. テーマゾーン

クイズ・展示・映像で「地球温暖化」や防止の取組を楽しく学べる。

b. NPO等による体験展示コーナー

環境保全活動に取り組むNPOや団体、企業、学校、行政など、100を超える団体が出展。子どもから大人まで楽しみながら環境について学ぶことができるコーナー。

c. エコバザール

京都グリーン購入ネットワークによるエコ商品の展示即売。

d. 産業廃棄物コーナー

産業廃棄物等廃棄物の削減やリサイクルの取組等を紹介するコーナー。

e. 環境道場

府内の温暖化防止の取組を紹介するフォーラム等、NPOが企画・運営するワークショップや府内各地で環境について学び・活動している「こどもエコクラブ」の交流会を開催。

f. 低公害車展示・試乗コーナー

燃料電池車など最新の低公害車の展示・試乗。

g. ステージイベント

片山右京氏（レーシングドライバー・アルピニスト）のトークショーやNHKキャラクターショー、各種表彰式等。

8. 主催者発表来場者数：27,000人（仮）

(参考2) イベント会場の様子



百年の会出展ブースの様子1



百年の会出展ブースの様子2



百年の会出展ブースの様子3



会場全体の様子1



会場全体の様子2



片山右京トークショー